

外食市場調査2014年度(2014年4月～2015年3月:3圏域)

外食市場は3兆9918億円 (+0.9%)、中食市場は1兆1048億円 (▲0.1%)
タウン別外食市場規模、首都圏は「飯田橋・水道橋」、
関西圏は「新大阪」、東海圏は「大垣駅周辺」が増加率最大(前年度比)

株式会社リクルートライフスタイル(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野健)に設置された「食」に関する調査・研究機関「ホットペッパー グルメ リサーチセンター」(<http://grc.hotpepper.jp/>)では、首都圏・関西圏・東海圏の男女約10,000人を対象に毎月実施している「外食市場調査」について、2014年度の年間結果をとりまとめましたのでご報告いたします。

1. 外食・中食の回数・市場規模 [P3]

- 3圏域計における14年4月～15年3月の年間の外食市場規模は3兆9918億円(前年度比+0.9%)と推計された。
- 3圏域計における14年4月～15年3月の年間の中食市場規模は1兆1048億円(前年度比▲0.1%)と推計された。
- 延べ回数は中食より外食の減少幅が大きい、外食のほうが単価の上昇幅が大きいため、市場規模で見ると、外食は前年度比プラスだったのに対し、中食は前年度比横ばいとなった。

※外食：夕方以降の食事について、お店で食事した場合を対象。消費地の範囲として、各圏域の居住者が各圏域の対象都府県内でおこなった外食を対象としており、圏域外でおこなった外食は含んでいない。また、夕方以降、1日2回までの外食を含む。

※中食：夕方以降の食事について、外で買ってきたものを食べた、出前や宅配を利用して食べた場合を対象。消費地の範囲として、各圏域の居住者が各圏域の対象都府県内で購入した中食を対象としており、圏域外で購入した中食は含んでいない。また、夕方以降、1日あたり2回まで(購入金額の上位2位まで)の中食を含む。

2. 性年代別の外食・中食実態、業態別、相手別の外食実態 [P4-5]

- 3圏域計において、性年代別には外食・中食とも「男性/40歳代」が延べ回数シェアで最も高く、市場規模シェアも最も高い。人口のボリュームゾーンが30代から40代にシフトしたことが背景。
- 【性年代別×主要業態】において、外食回数の伸び率が高い組み合わせは、「男性/40歳代」×「ビストロ、ダイニング、創作料理」(+21.2%)※年間の外食回数が5000万回以上の業態で伸び率上位のセグメントを掲載。
- 外食相手別では、「1人」での単価上昇幅(前年度比+6.2%)、市場規模の増加幅(前年度比+3.1%)が他の組み合わせに比べて大きい。

3. タウンランキング [P6-9]

首都圏			関西圏			東海圏					
順位	外食市場規模	前年度比	順位	外食市場規模	前年度比	順位	外食市場規模	前年度比			
1位	新宿(代々木)	1,531億円	+1.9%	1位	梅田・大阪・北新地	1,574億円	-2.1%	1位	名古屋	577億円	+6.0%
2位	銀座・有楽町	1,049億円	+3.0%	2位	四条・河原町	600億円	-5.4%	2位	栄・伏見	538億円	+3.8%
3位	東京・人形町	1,005億円	+1.8%	3位	本町・心斎橋・淀屋橋	588億円	-1.7%	3位	岐阜駅周辺	198億円	+3.5%

首都圏			関西圏			東海圏					
順位	中食市場規模	前年度比	順位	中食市場規模	前年度比	順位	中食市場規模	前年度比			
1位	池袋	203億円	+1.6%	1位	梅田・大阪・北新地	200億円	+0.3%	1位	名古屋	82億円	-5.2%
2位	新宿(代々木)	173億円	-2.5%	2位	西宮北口・甲子園	108億円	+4.2%	2位	栄・伏見	56億円	-10.8%
3位	東京・人形町	140億円	+5.6%	3位	尼崎・伊丹	96億円	-6.5%	3位	春日井・勝川・高蔵寺	49億円	+18.4%

- タウン別で外食市場規模の前年度比が最も大きかったのは、首都圏では「飯田橋・水道橋(前年度比+20.4%)」、関西圏では「新大阪(同+23.1%)」、東海圏では「大垣駅周辺(同+23.6%)」。
- 最大要因は、「飯田橋・水道橋」は外食単価の上昇(前年度比+14.5%)、「新大阪」と「大垣駅周辺」は延べ外食回数の増加(新大阪=前年度比+12.8%、大垣駅周辺=同+15.1%)であった。

1. 外食・中食の回数・市場規模

- 3圏域計における14年4月～15年3月の年間の延べ外食回数は前年度比▲3.1%（16億1835万回）、外食市場規模は前年度比+0.9%（3兆9918億円）と推計された。
- また、3圏域計の年間の延べ中食購入回数は前年度比▲1.2%（14億5477万回）、中食市場規模は前年度比▲0.1%（1兆1048億円）と推計された。
- 延べ回数は中食より外食の減少幅が大きいですが、外食のほうが単価の上昇幅が大きく、市場規模で見ると、外食は前年度比プラスだったのに対し、中食は前年度比マイナスとなった。

■年間の延べ外食回数、外食市場規模<推計値>

	H24人口推計	調査結果			推計結果				
		個人単位集計		外食単位集計	延べ外食回数 (万回) A*B*C*12=<E>	前年度比	外食市場規模 (億円) D*E=<F>	前年度比	
		人口 (万人) <A>	1カ月あたりの外食実施率(%) 	1カ月あたりの実施者の外食頻度(回/月) <C>					外食単価(円/回) <D>
3圏域計	2014年度	4,200 万人	75.9 %	4.23 回/月	2,467 円	161,835 万回	96.9%	39,918 億円	100.9%
	2013年度	4,267 万人	76.3 %	4.28 回/月	2,369 円	167,028 万回		39,574 億円	
首都圏	2014年度	2,379 万人	75.9 %	4.52 回/月	2,513 円	97,928 万回	98.0%	24,606 億円	102.6%
	2013年度	2,410 万人	76.1 %	4.54 回/月	2,400 円	99,922 万回		23,980 億円	
関西圏	2014年度	1,179 万人	75.5 %	3.96 回/月	2,485 円	42,359 万回	94.5%	10,525 億円	97.1%
	2013年度	1,204 万人	76.5 %	4.05 回/月	2,418 円	44,815 万回		10,836 億円	
東海圏	2014年度	642 万人	76.5 %	3.66 回/月	2,222 円	21,548 万回	96.7%	4,787 億円	100.6%
	2013年度	653 万人	76.7 %	3.71 回/月	2,135 円	22,291 万回		4,759 億円	

※延べ外食回数は、人口×外食実施率×外食実施者の平均外食頻度で算出。
 ※外食市場規模は、人口×外食実施率×外食実施者の平均外食頻度×外食単価で算出。

■年間の延べ中食購入回数、中食市場規模<推計値>

	H24人口推計	調査結果			推計結果				
		個人単位集計		中食単位集計	延べ中食購入回数 (万回) A*B*C*12=<E>	前年度比	中食市場規模 (億円) D*E=<F>	前年度比	
		人口 (万人) <A>	1カ月あたりの中食実施率(%) 	1カ月あたりの実施者の中食購入頻度(回/月) <C>					中食単価(円/回) <D>
3圏域計	2014年度	4,200 万人	61.3 %	4.71 回/月	759 円	145,477 万回	98.8%	11,048 億円	99.9%
	2013年度	4,267 万人	61.3 %	4.69 回/月	751 円	147,266 万回		11,056 億円	
首都圏	2014年度	2,379 万人	62.0 %	4.99 回/月	765 円	88,443 万回	99.6%	6,764 億円	101.0%
	2013年度	2,410 万人	62.1 %	4.94 回/月	754 円	88,780 万回		6,694 億円	
関西圏	2014年度	1,179 万人	60.6 %	4.46 回/月	764 円	38,251 万回	96.9%	2,921 億円	98.4%
	2013年度	1,204 万人	60.6 %	4.51 回/月	753 円	39,460 万回		2,969 億円	
東海圏	2014年度	642 万人	59.7 %	4.09 回/月	726 円	18,783 万回	98.7%	1,364 億円	97.9%
	2013年度	653 万人	59.8 %	4.06 回/月	732 円	19,027 万回		1,393 億円	

※延べ中食購入回数は、人口×中食実施率×中食実施者の平均中食購入頻度で算出。
 ※中食市場規模は、人口×中食実施率×中食実施者の平均中食購入頻度×中食単価で算出。

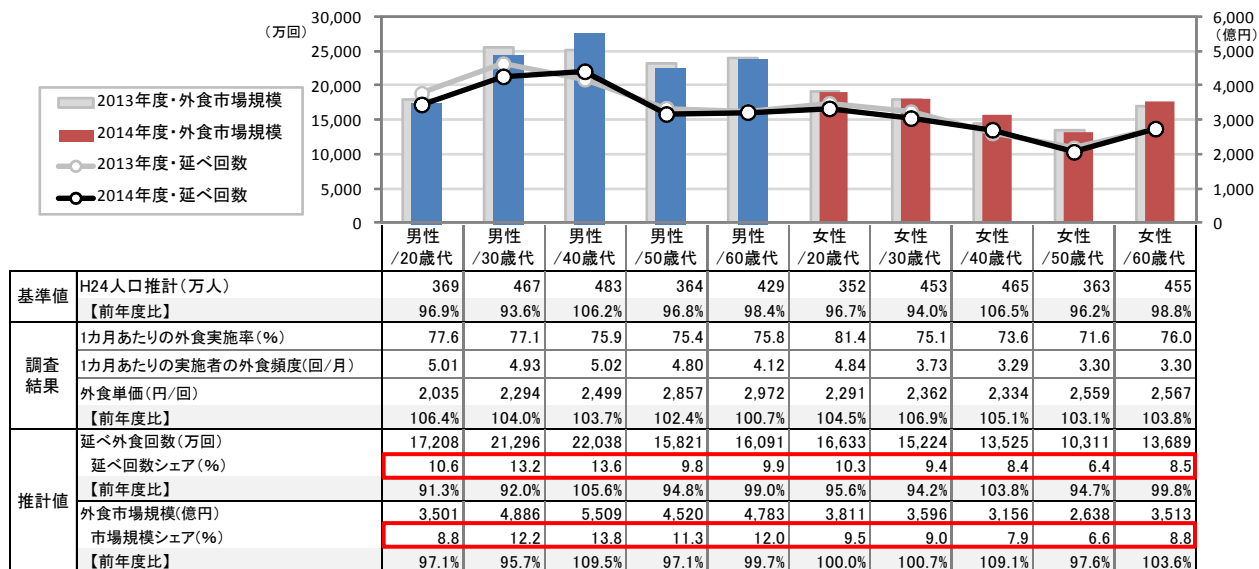
【基準人口について】

- ・2014年度の基準人口：前年度の基準人口に県×性年代別のH22国調→H24人口推計の減少率をあてて計算。
- ・2013年度の基準人口：H22国勢調査に基づく、各圏域に含まれる市区町村の対象年代の人口。
- ・基準人口の前年度比 3圏域計：-1.6%、首都圏：-1.3%、関西圏：-2.0%、東海圏：-1.7%

2. 性年代別の外食・中食実態

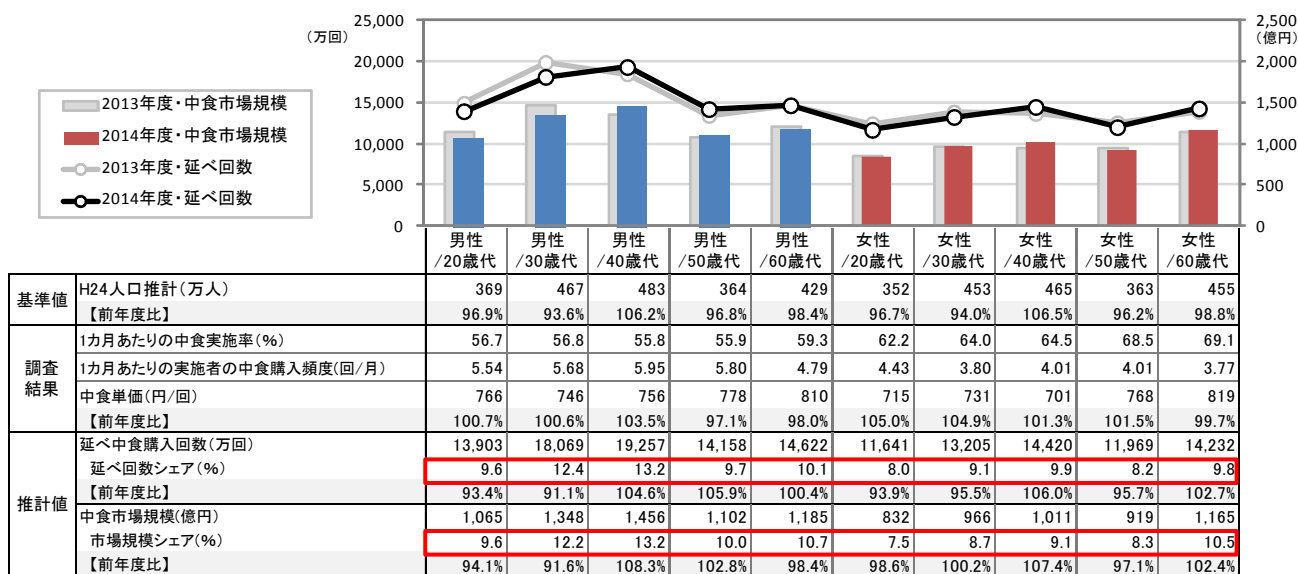
- 3圏域計において、性年代別には外食・中食とも「**男性/40歳代**」が延べ回数シェアで最も高く、**市場規模シェアも最も高い**。人口のボリュームゾーンが30代から40代にシフトし、前年度最多であった男性/30歳代と入れ替わった。
- 外食市場規模の前年度比は、男性/40歳代に次いで女性/40歳代の伸び率が高く、続いて女性/60歳代の伸び率が高い。
- 中食市場規模の前年度比は、男性/40歳代に次いで女性/40歳代の伸び率が高く、続いて男性/50歳代や女性/60歳代の伸び率が高い。

■ 年間の延べ外食回数、外食市場規模 【性年代別・3圏域計】 <推計値>



※各性年代の人口に、1ヵ月あたりの外食実施率と1ヵ月あたりの実施者の外食頻度を乗じて、各性年代の延べ外食回数を推計。
各性年代の延べ外食回数に、各性年代の外食単価を乗じて、各性年代の外食市場規模を推計。
各性年代の外食市場規模の合計は、有効桁数の関係で、年間の外食市場規模と完全には合致しない。

■ 年間の延べ中食購入回数、中食市場規模 【性年代別・3圏域計】 <推計値>



※各性年代の人口に、1ヵ月あたりの中食実施率と1ヵ月あたりの実施者の中食頻度を乗じて、各性年代の延べ中食購入回数を推計。
各性年代の延べ中食購入回数に、各性年代の中食単価を乗じて、各性年代の中食市場規模を推計。
各性年代の中食市場規模の合計は、有効桁数の関係で、年間の中食市場規模と完全には合致しない。

3. 業態別、相手別の外食実態

- 主要な業態（年間外食回数5000万回以上）で性年代別に外食回数の伸び率の高い組み合わせは、
 - ・ 「男性/40歳代」×「ビストロ、ダイニング、創作料理」（+21.2%）
 - ・ 「女性/40歳代」×「ビストロ、ダイニング、創作料理」（+18.2%）など。
- 外食相手別では、「1人」での単価上昇幅（前年度比+6.2%）、市場規模の増加幅（前年度比+3.1%）が他の組み合わせに比べて大きい。

■ 年間の延べ外食回数、外食市場規模 【業態別・3圏域計】 <推計値>

	食事主体										飲酒主体				軽食主体				その他			大分類		
	レストラン・食堂	ピストロ、創作料理、ダイニング	各国料理	焼肉、鍋等の専門店	すし、割烹、料亭	ファミリールーメン、うどん店など	ラーメン、そば、うどん店など	その他の食事主体	居酒屋、バー、ビアホール、パブ	スナック、クラブ、カラオケ	その他の飲酒主体	ファストフード	専売業態	牛丼等、一品もの	立食・そば業態	の喫茶店・カフェ	その他の軽食主体	ホテルや各種会場	旅行・出張先のホテルや旅館	その他	食事主体・小計	飲酒主体・小計	軽食主体・小計	
外食単価(円/回)	1,987	3,797	2,921	3,460	4,104	1,456	1,002	1,727	3,433	5,625	3,400	748	658	706	1,021	1,031	5,993	5,241	1,278	2,335	3,546	774		
【前年度比】	104.8%	104.1%	103.3%	103.9%	105.4%	104.8%	102.7%	105.9%	102.1%	108.9%	102.7%	106.3%	109.6%	103.6%	105.3%	109.1%	101.4%	103.4%	98.1%	104.5%	102.6%	107.7%		
延べ外食回数(万回)	13,789	5,520	21,030	13,252	7,967	22,198	16,863	4,327	30,245	1,707	1,023	4,193	7,615	1,379	2,949	1,366	2,597	946	2,869	104,946	32,975	17,502		
延べ回数シェア(%)	8.5	3.4	13.0	8.2	4.9	13.7	10.4	2.7	18.7	1.1	0.6	2.6	4.7	0.9	1.8	0.8	1.6	0.6	1.8	64.8	20.4	10.8		
【前年度比】	97.8%	108.1%	99.3%	100.3%	95.4%	97.9%	98.6%	100.7%	96.5%	92.2%	95.4%	86.3%	88.6%	98.7%	91.9%	93.1%	89.7%	86.9%	88.6%	99.0%	96.2%	89.6%		
外食市場規模(億円)	2,739	2,096	6,143	4,586	3,270	3,231	1,689	747	10,383	960	348	314	501	97	301	141	1,557	496	367	24,501	11,691	1,354		
市場規模シェア(%)	6.9	5.2	15.4	11.5	8.2	8.1	4.2	1.9	26.0	2.4	0.9	0.8	1.3	0.2	0.8	0.4	3.9	1.2	0.9	61.3	29.3	3.4		
【前年度比】	102.5%	112.5%	102.5%	104.2%	100.5%	102.6%	101.3%	106.6%	98.6%	100.5%	98.0%	91.7%	97.1%	102.2%	96.8%	101.5%	91.0%	89.8%	86.9%	103.4%	98.7%	96.5%		

※年間の延べ外食回数の推計値に、外食単位集計の構成比を乗じて、各分類の外食回数を推計。各分類の外食回数に、各分類の外食単価を乗じて、各分類の外食市場規模を推計。

各分類の外食市場規模の合計は、有効桁数の関係で、年間の外食市場規模と完全には合致しない。

※業態【大分類】別の単価は、市場規模(億円)の小計を延べ外食回数(万回)の小計で割って算出している。

■ 外食者の業態別性年代別 延べ外食回数の前年度比 【3圏域計】 <推計値>

	延べ外食回数	男性/20歳代	男性/30歳代	男性/40歳代	男性/50歳代	男性/60歳代	女性/20歳代	女性/30歳代	女性/40歳代	女性/50歳代	女性/60歳代	
		3圏域計(年間計)	96.9	91.3	92.0	105.5	94.8	98.9	95.7	94.2	103.8	94.6
外食した店の業態別(年間計)	レストラン(ファミリーレストラン以外)・食堂	97.8	94.5	88.1	113.2	94.7	103.9	97.4	97.5	103.2	98.0	94.0
	ピストロ、ダイニング、創作料理	108.1	116.4	101.2	121.2	100.7	94.9	106.1	105.5	118.2	108.2	110.1
	各国料理(和食・中華・洋食、イタリアン・フレンチ、韓国、アジア他)	99.3	93.3	93.0	107.4	98.1	100.7	95.1	98.0	106.6	92.6	105.8
	焼肉、お好み焼き、鉄板焼き、すき焼き・しゃぶしゃぶ、鍋等の専門店	100.3	98.9	91.6	109.8	99.1	103.1	105.9	95.6	102.5	96.9	100.5
	すし、割烹、料亭	95.4	95.8	94.4	101.9	94.9	96.5	95.0	92.1	101.9	86.6	94.7
	ファミリーレストラン、回転すし、ステーキハウス等	97.9	93.9	91.7	104.4	99.2	103.4	96.5	90.1	101.5	97.6	101.7
	ラーメン、そば、うどん店など	98.6	94.1	91.2	109.1	102.5	103.4	99.4	90.8	109.2	97.4	94.6
	その他の食事を主体とする業態の店	100.7	91.9	87.2	123.8	104.0	103.9	88.4	104.0	90.9	96.6	107.9
	主飲酒	96.5	92.0	96.7	107.2	92.2	92.1	95.2	97.1	103.1	90.4	98.2
	スナック、カラオケ、クラブ、キャバレー	92.2	77.3	79.5	99.2	106.5	92.9	75.1	90.5	89.1	103.9	98.5
その他の飲酒を主体とする業態の店	95.4	81.9	97.7	122.0	100.4	85.3	76.6	75.9	98.7	131.0	91.9	
軽食主体	86.3	80.9	84.7	93.0	83.6	85.3	86.6	81.9	103.6	82.8	83.6	
牛丼、カレー等、一品もの専売業態	88.6	75.3	91.0	92.7	80.5	110.8	94.4	90.6	102.5	99.8	89.6	
立食のラーメン、うどん・そば業態	98.7	91.7	98.8	102.9	84.8	124.8	111.8	79.8	89.8	114.8	143.6	
喫茶店・カフェでの軽食	91.9	80.4	87.4	112.7	105.8	80.5	89.5	85.8	96.1	99.4	99.6	
その他の軽食を主体とする業態の店	93.1	68.4	93.6	112.3	107.8	101.6	99.7	82.5	107.1	76.4	95.7	
その他	89.7	86.2	72.6	95.4	88.7	90.6	83.4	94.9	106.7	93.1	93.8	
旅行・出張先のホテルや旅館	86.9	76.5	84.9	101.8	86.8	93.8	72.7	86.8	96.0	74.0	93.7	
その他	88.6	86.9	87.9	74.5	71.4	104.6	77.3	119.0	108.1	93.6	99.1	
大分類	99.0	95.7	91.7	109.0	98.9	101.7	98.3	94.8	104.4	95.8	100.8	
食事主体・小計	96.2	91.2	95.9	107.1	93.5	91.9	94.1	96.2	102.3	92.2	97.9	
飲酒主体・小計	89.6	78.0	90.0	96.0	84.6	103.2	91.1	85.0	101.0	91.8	94.3	
軽食主体・小計	88.8	84.7	81.6	84.4	79.9	96.3	79.1	104.1	105.5	88.6	95.3	

太字 前年度比が+5%以上

単位(%)

■ 年間の延べ外食回数、外食市場規模 【相手別・3圏域計】 <推計値>

	職場・学校・地域関係	仕事の取引先・お客様	友人・知人	家族・親族	恋人や異性の相手と2人で	1人	その他
外食単価(円/回)	3,611	5,397	3,046	2,178	2,774	1,080	3,099
【前年度比】	103.6%	104.0%	103.6%	103.9%	105.9%	106.2%	107.6%
延べ外食回数(万回)	20,863	3,323	32,366	61,039	12,734	28,826	2,683
延べ回数シェア(%)	12.9	2.1	20.0	37.7	7.9	17.8	1.7
【前年度比】	95.2%	98.5%	97.6%	97.2%	95.5%	97.1%	96.1%
外食市場規模(億円)	7,533	1,793	9,859	13,297	3,532	3,114	831
市場規模シェア(%)	18.9	4.5	24.7	33.3	8.8	7.8	2.1
【前年度比】	98.7%	102.4%	101.1%	101.0%	101.2%	103.1%	103.4%

※年間の延べ外食回数の推計値に、外食単位集計の構成比を乗じて、各分類の外食回数を推計。各分類の外食回数に、各分類の外食単価を乗じて、各分類の外食市場規模を推計。

各分類の外食市場規模の合計は、有効桁数の関係で、年間の外食市場規模と完全には合致しない。

4-1. 首都圏タウンランキング (外食・中食)

- 首都圏における外食市場規模の大きいタウン上位は、**1位「新宿」、2位「銀座・有楽町」、3位「東京・人形町」、4位「新橋・浜松町」、5位「渋谷・表参道」**で、前年度と変わらず。前年度比で増加率の大きいタウン上位は、**1位「飯田橋・水道橋」、2位「上尾駅周辺(埼玉県)」**、3位「吉祥寺・三鷹」であった。
- 「飯田橋・水道橋」では外食単価の上昇(2,553円→2,924円で前年度比+14.5%)の影響が外食回数の増加以上に大きい。「上尾駅周辺(埼玉県)」では外食単価の上昇(1,755円→1,841円で同+4.9%)以上に、延べ外食回数の増加(同+12.7%)が大きい。「吉祥寺・三鷹」では外食単価の上昇(2,110円→2,320円で同+10.0%)が大きい。
- 中食市場においては、市場規模の大きいタウン上位は、**1位「池袋」、2位「新宿」、3位「東京・人形町」**で、前年度と変わらず。前年度比で増加率の大きいタウン上位は、**1位「赤羽」、2位「川越駅周辺(埼玉県)」**、3位「豊洲・門前仲町」であった。

※コメント中のタウン名は一部略記。県名のないタウンは東京都

※首都圏:70タウンを対象にしている ※タウンの設定はP2参照 ※★:半径1kmのタウン、無印:半径2kmのタウン、◎:半径4kmのタウン
 ※今年度、タウンに含まれる駅等、タウンの設定を見直しており、前回は新しいタウン設定に基づいて再集計している。

●首都圏外食タウンランキング

■外食市場規模

順位	タウン名	外食市場規模(億円)	前年度比	前回順位
1位	新宿(代々木)★	1,531	101.9%	1位
2位	銀座・有楽町★	1,049	103.0%	2位
3位	東京・人形町★	1,005	101.8%	3位
4位	新橋・浜松町★	915	101.1%	4位
5位	渋谷・表参道(原宿)★	874	103.9%	5位
6位	池袋★	827	109.3%	6位
7位	神田・秋葉原・御茶ノ水・神保町★	600	106.7%	8位
8位	恵比寿・中目黒・目黒★	596	102.9%	7位
9位	横浜駅周辺	573	105.9%	9位
10位	六本木(青山一丁目)★	511	112.7%	11位
11位	上野・御徒町★	459	108.4%	12位
12位	関内・桜木町・みなとみらい	455	95.2%	10位
13位	飯田橋・水道橋★	445	120.4%	15位
14位	品川・田町★	408	104.8%	13位
15位	大宮◎	397	104.7%	14位
16位	四ッ谷・赤坂見附(市ヶ谷)★	353	97.2%	16位
17位	千葉駅周辺◎	326	92.6%	17位
18位	町田・相模大野◎	311	106.2%	19位
19位	吉祥寺・三鷹(武蔵境・東小金井)◎	308	116.2%	21位
20位	錦糸町・亀戸(両国)	306	95.1%	18位

■外食市場規模 前年度比増加率

順位	タウン名	前年度比	外食市場規模(億円)
1位	飯田橋・水道橋★	120.4%	445
2位	上尾駅周辺◎	118.2%	85
3位	吉祥寺・三鷹(武蔵境・東小金井)◎	116.2%	308
4位	日暮里(西日暮里)★	115.5%	131
5位	豊洲・門前仲町	113.7%	286
6位	川口駅周辺◎	113.1%	177
7位	中野・高円寺(東中野)	113.0%	267
8位	柏駅周辺◎	112.8%	241
9位	六本木(青山一丁目)★	112.7%	511
10位	三軒茶屋	112.0%	101

■外食単価

順位	タウン名	外食単価(円)	前年度比	前回順位
1位	六本木(青山一丁目)★	4,984	105.7%	1位
2位	銀座・有楽町★	4,747	106.8%	2位
3位	恵比寿・中目黒・目黒★	3,743	106.0%	4位
4位	新橋・浜松町★	3,632	101.9%	3位
5位	東京・人形町★	3,505	102.3%	6位
6位	四ッ谷・赤坂見附(市ヶ谷)★	3,474	99.4%	5位
7位	関内・桜木町・みなとみらい	3,243	100.5%	7位
8位	品川・田町★	3,145	100.2%	8位
9位	浅草(押上)	3,087	106.8%	10位
10位	上野・御徒町★	3,037	108.5%	12位

■外食タウン別年齢構成《20歳代》

順位	タウン名	20歳代シェア	前回順位	前回値
1位	高田馬場★	40.6%	1位	41.3%
2位	巢鴨(駒込)★	36.1%	2位	34.5%
3位	渋谷・表参道(原宿)★	33.5%	4位	33.4%
4位	池袋★	32.4%	3位	34.2%
5位	自由が丘	31.2%	17位	25.0%
6位	津田沼◎	30.8%	25位	23.7%
7位	吉祥寺・三鷹(武蔵境・東小金井)◎	29.8%	10位	29.5%
8位	舞浜◎	29.6%	8位	30.1%
9位	新宿(代々木)★	29.4%	7位	30.3%
10位	横浜駅周辺	28.6%	5位	31.5%

■外食タウン別年齢構成《60歳代》

順位	タウン名	60歳代シェア	前回順位	前回値
1位	上尾駅周辺◎	29.4%	5位	21.0%
2位	大船◎	26.1%	1位	26.5%
3位	所沢(東村山・新秋津)◎	24.2%	16位	19.3%
4位	自由が丘	23.2%	2位	23.4%
5位	豊洲・門前仲町	22.2%	5位	21.0%
5位	大宮◎	22.2%	3位	22.3%
7位	千葉駅周辺◎	21.9%	15位	19.5%
8位	銀座・有楽町★	20.6%	21位	18.4%
8位	六本木(青山一丁目)★	20.6%	25位	17.1%
10位	柏駅周辺◎	20.5%	9位	20.3%

※各タウンの「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」の年代のうち、20歳代/60歳代による外食が多い順にランキング

※首都圏:70タウンを対象にしている ※タウンの設定はP2参照 ※★:半径1kmのタウン、無印:半径2kmのタウン、◎:半径4kmのタウン
 ※今年度、タウンに含まれる駅等、タウンの設定を見直しており、前回は新しいタウン設定に基づいて再集計している。

■ 外食タウン別客層構成《サラリーマン(男性会社員)》

順位	タウン名	男性会社員シェア	前回順位	前回値
1位	武蔵小杉	53.3%	4位	50.4%
2位	新橋・浜松町★	52.3%	1位	53.1%
3位	川崎駅周辺	50.3%	3位	52.2%
4位	蒲田	50.1%	8位	44.6%
5位	品川・田町★	48.6%	2位	52.4%
5位	大崎・五反田★	48.6%	6位	49.3%
7位	神田・秋葉原・御茶ノ水・神保町★	47.9%	5位	49.6%
8位	豊洲・門前仲町	47.4%	8位	44.6%
9位	小岩・新小岩	47.3%	19位	39.8%
10位	東京・人形町★	46.0%	7位	48.1%

■ 外食タウン別客層構成《OL(女性会社員)》

順位	タウン名	女性会社員シェア	前回順位	前回値
1位	恵比寿・中目黒・目黒★	24.5%	2位	22.9%
2位	六本木(青山一丁目)★	24.2%	5位	20.6%
3位	銀座・有楽町★	24.0%	1位	25.3%
4位	渋谷・表参道(原宿)★	23.3%	4位	20.7%
5位	下北沢	20.3%	19位	14.8%
6位	舞浜◎	19.8%	14位	15.3%
7位	東京・人形町★	19.0%	7位	18.5%
8位	新宿(代々木)★	18.9%	9位	17.6%
9位	飯田橋・水道橋★	18.6%	10位	17.0%
10位	自由が丘	18.5%	28位	12.6%

※各タウンの「男性会社員」「女性会社員」など職業のうち、男性会社員/女性会社員による外食が多い順にランキング

■ 外食タウン別同伴形態構成《カップル》

順位	タウン名	カップルシェア	前回順位	前回値
1位	横浜駅周辺	12.4%	4位	12.3%
1位	関内・桜木町・みなとみらい	12.4%	3位	12.4%
3位	六本木(青山一丁目)★	12.0%	18位	9.8%
4位	浅草(押上)	11.9%	4位	12.3%
5位	恵比寿・中目黒・目黒★	11.6%	2位	12.5%
6位	銀座・有楽町★	11.5%	11位	10.7%
7位	池袋★	11.4%	1位	13.2%
7位	吉祥寺・三鷹(武蔵境・東小金井)◎	11.4%	20位	9.5%
9位	中野・高円寺(東中野)	10.9%	7位	11.3%
10位	新宿(代々木)★	10.8%	8位	11.2%
10位	渋谷・表参道(原宿)★	10.8%	10位	10.8%
10位	荻窪(阿佐ヶ谷・西荻窪)	10.8%	15位	10.1%

■ 外食タウン別同伴形態構成《家族関係》

順位	タウン名	家族シェア	前回順位	前回値
1位	たまプラーザ(あざみ野)	63.1%	2位	59.2%
2位	上尾駅周辺◎	61.4%	1位	59.3%
3位	多摩センター◎	55.8%	16位	44.7%
4位	舞浜◎	53.7%	3位	55.8%
5位	西葛西	52.2%	14位	45.0%
6位	越谷レイクタウン・越谷◎	50.9%	4位	53.7%
7位	海浜幕張◎	50.1%	14位	45.0%
8位	平塚・茅ヶ崎◎	49.7%	9位	48.9%
9位	大和駅周辺◎	49.0%	7位	50.3%
10位	橋本◎	47.3%	7位	50.3%

※各タウンの「家族・親族」「恋人や異性2人」など同伴形態のうち、家族・親族/恋人や異性2人による外食が多い順にランキング

● 首都圏中食タウンランキング

■ 中食市場規模

順位	タウン名	中食市場規模(億円)	前年度比	前回順位
1位	池袋★	203	101.6%	1位
2位	新宿(代々木)★	173	97.5%	2位
3位	東京・人形町★	140	105.6%	3位
4位	大宮◎	128	97.9%	4位
5位	町田・相模大野◎	116	96.6%	5位
5位	横浜駅周辺	116	111.6%	8位
7位	千葉駅周辺◎	112	96.0%	6位
8位	浦和◎	106	100.0%	7位
9位	立川駅周辺◎	101	99.9%	9位
10位	中野・高円寺(東中野)	94	100.3%	12位
11位	渋谷・表参道(原宿)★	89	111.8%	16位
11位	吉祥寺・三鷹(武蔵境・東小金井)◎	89	90.6%	10位
13位	錦糸町・亀戸(両国)	87	92.7%	11位
14位	川口駅周辺◎	86	96.6%	13位
15位	二子玉川(溝の口)	84	100.6%	14位
16位	八王子駅周辺◎	81	119.5%	21位
16位	柏駅周辺◎	81	112.9%	18位
18位	海老名・本厚木◎	78	113.6%	20位
19位	恵比寿・中目黒・目黒★	77	96.0%	16位
20位	志木・朝霞台・和光市◎	76	92.7%	15位

■ 中食市場規模 前年度比増加率

順位	タウン名	前年度比	中食市場規模(億円)
1位	赤羽(東十条)	134.2%	48
2位	川越駅周辺◎	127.4%	48
3位	豊洲・門前仲町	122.5%	61
4位	平塚・茅ヶ崎◎	121.0%	68
5位	上野・御徒町★	120.9%	67
6位	八王子駅周辺◎	119.5%	81
7位	多摩センター◎	118.7%	45
8位	荻窪(阿佐ヶ谷・西荻窪)	115.6%	63
9位	飯田橋・水道橋★	114.2%	45
10位	海老名・本厚木◎	113.6%	78

■ 中食単価

順位	タウン名	中食単価(円)	前年度比	前回順位
1位	銀座・有楽町★	1,371	96.2%	1位
2位	東京・人形町★	1,149	103.1%	3位
3位	新宿(代々木)★	1,134	101.4%	2位
4位	六本木(青山一丁目)★	1,131	111.1%	5位
5位	渋谷・表参道(原宿)★	1,116	104.2%	4位
6位	四ツ谷・赤坂見附(市ヶ谷)★	1,087	126.2%	13位
7位	横浜駅周辺	1,066	107.6%	7位
8位	神田・秋葉原・御茶ノ水・神保町★	1,002	102.9%	8位
9位	池袋★	1,001	106.2%	10位
10位	上野・御徒町★	994	98.8%	6位

4-2. 関西圏タウンランキング (外食・中食)

- 関西圏における外食市場規模の大きいタウン上位は、**1位「梅田・大阪・北新地」、2位「四条・河原町(京都府)」、3位「本町・心斎橋・淀屋橋」**で前年度と変わらず。前年度比で増加率の大きいタウン上位は、**1位「新大阪」**であった。
- 「新大阪」では外食単価の上昇以上に、延べ外食回数の増加(前年度比+12.8%)が大きい。
- 中食市場規模でも「梅田・大阪・北新地」が圏域内では最大。

※コメント中のタウン名は一部略記、府県名のないタウンは大阪府

※関西圏:32タウンを対象にしている ※タウンの設定はP2参照 ※無印:半径2kmのタウン、◎:半径4kmのタウン
 ※今年度、タウンに含まれる駅等、タウンの設定を見直しており、前回値は新しいタウン設定に基づいて再集計している。

● 関西圏外食タウンランキング

■ 外食市場規模

順位	タウン名	外食市場規模(億円)	前年度比	前回順位
1位	梅田・大阪・北新地	1,574	97.9%	1位
2位	四条(烏丸)・河原町(祇園四条)	600	94.6%	2位
3位	本町・心斎橋・淀屋橋	588	98.3%	3位
4位	三ノ宮(三宮)・元町	541	99.4%	4位
5位	なんば・大阪難波	511	100.8%	5位
6位	天王寺(大阪阿倍野橋)	311	101.5%	6位
7位	西宮北口・甲子園◎	278	100.6%	8位
8位	京橋・天満橋	270	91.3%	7位
9位	尼崎・伊丹◎	246	108.2%	10位
10位	京都駅周辺	216	94.6%	9位

■ 外食タウン別年齢構成《20歳代》

順位	タウン名	20歳代シェア	前回順位	前回値
1位	出町柳	51.4%	1位	53.6%
2位	四条(烏丸)・河原町(祇園四条)	28.6%	2位	31.7%
3位	梅田・大阪・北新地	26.6%	3位	29.1%

※各タウンの「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」の年代のうち、20歳代/60歳代による外食が多い順にランキング

■ 外食タウン別客層構成《サラリーマン(男性会社員)》

順位	タウン名	男性会社員シェア	前回順位	前回値
1位	十三	47.6%	2位	42.5%
2位	新大阪	43.3%	1位	43.4%
3位	本町・心斎橋・淀屋橋	39.5%	3位	41.1%

※各タウンの「男性会社員」「女性会社員」など職業のうち、男性会社員/女性会社員による外食が多い順にランキング

■ 外食タウン別同伴形態構成《カップル》

順位	タウン名	カップルシェア	前回順位	前回値
1位	なんば・大阪難波	11.9%	1位	12.1%
2位	京都駅周辺	11.5%	4位	11.5%
3位	三ノ宮(三宮)・元町	11.2%	6位	11.3%

※各タウンの「家族・親族」「恋人や異性2人」など同伴形態のうち、家族・親族/恋人や異性2人による外食が多い順にランキング

● 関西圏中食タウンランキング

■ 中食市場規模

順位	タウン名	中食市場規模(億円)	前年度比	前回順位
1位	梅田・大阪・北新地	200	100.3%	1位
2位	西宮北口・甲子園◎	108	104.2%	2位
3位	尼崎・伊丹◎	96	93.5%	3位
4位	四条(烏丸)・河原町(祇園四条)	92	91.4%	4位
5位	天王寺(大阪阿倍野橋)	84	91.1%	5位
6位	枚方市・寝屋川市・香里園・樟葉◎	71	88.3%	6位
7位	京橋・天満橋	69	100.1%	8位
8位	三ノ宮(三宮)・元町	68	88.5%	7位
9位	大日◎	64	111.0%	11位
9位	江坂・千里中央◎	64	95.6%	9位

■ 外食市場規模 前年度比増加率

順位	タウン名	前年度比	外食市場規模(億円)
1位	新大阪	123.1%	126
2位	高槻・高槻市◎	115.5%	120
3位	垂水	112.2%	62
4位	尼崎・伊丹◎	108.2%	246
5位	堺東	107.4%	173
5位	姫路駅周辺◎	107.4%	170

■ 外食単価

順位	タウン名	外食単価(円)	前年度比	前回順位
1位	四条(烏丸)・河原町(祇園四条)	3,367	100.9%	1位
2位	本町・心斎橋・淀屋橋	3,366	102.0%	2位
3位	梅田・大阪・北新地	3,233	103.1%	3位
4位	三ノ宮(三宮)・元町	3,021	102.2%	4位
5位	京都駅周辺	3,009	102.4%	5位

■ 外食タウン別年齢構成《60歳代》

順位	タウン名	60歳代シェア	前回順位	前回値
1位	金剛◎	34.4%	2位	29.0%
2位	布施◎	32.3%	5位	26.2%
3位	宝塚駅周辺◎	30.8%	4位	27.1%

■ 外食タウン別客層構成《OL(女性会社員)》

順位	タウン名	女性会社員シェア	前回順位	前回値
1位	本町・心斎橋・淀屋橋	21.1%	2位	17.9%
2位	大正・弁天町	19.0%	7位	15.1%
3位	梅田・大阪・北新地	18.3%	1位	18.1%

■ 外食タウン別同伴形態構成《家族関係》

順位	タウン名	家族シェア	前回順位	前回値
1位	金剛◎	68.3%	1位	67.4%
2位	宝塚駅周辺◎	61.4%	2位	60.2%
3位	近鉄八尾◎	58.1%	6位	51.7%

■ 中食市場規模 前年度比増加率

順位	タウン名	前年度比	中食市場規模(億円)
1位	宝塚駅周辺◎	119.8%	30
2位	垂水	112.6%	21
3位	六甲道(住吉)	111.3%	48

■ 中食単価

順位	タウン名	中食単価(円)	前年度比	前回順位
1位	梅田・大阪・北新地	1,099	103.3%	1位
2位	なんば・大阪難波	1,060	108.3%	4位
3位	京都駅周辺	998	97.9%	2位

4-3. 東海圏タウンランキング (外食・中食)

- 東海圏における外食市場規模の大きいタウン上位は、**1位「名古屋」、2位「栄・伏見」、3位「岐阜駅周辺(岐阜県)」**で前年度と変わらず。前年度比で増加率の大きいタウン上位は、**1位「大垣駅周辺(岐阜県)」**であった。
- 「大垣駅周辺」では外食単価の上昇以上に、延べ外食回数の増加(前年度比+15.1%)が大きい。
- 中食市場規模でも「名古屋」が圏域内では最大。

※コメント中のタウン名は一部略記、県名のないタウンは愛知県

※東海圏:22タウンを対象にしている ※タウンの設定はP2参照 ※無印:半径2kmのタウン、◎:半径4kmのタウン
 ※今年度、タウンに含まれる駅等、タウンの設定を見直しており、前回値は新しいタウン設定に基づいて再集計している。

●東海圏外食タウンランキング

■外食市場規模

順位	タウン名	外食市場規模(億円)	前年度比	前回順位
1位	名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	577	106.0%	1位
2位	栄・伏見	538	103.8%	2位
3位	岐阜駅周辺◎	198	103.5%	3位
4位	金山	168	104.3%	4位
5位	千種・今池	125	113.4%	8位
6位	四日市駅周辺◎	116	104.8%	7位
7位	豊田市駅周辺◎	111	96.4%	5位
8位	尾張一宮・名鉄一宮◎	108	94.3%	6位
9位	春日井・勝川・高蔵寺◎	103	95.9%	9位
10位	大曾根	85	105.2%	10位

■外食市場規模 前年度比増加率

順位	タウン名	前年度比	外食市場規模(億円)
1位	大垣駅周辺◎	123.6%	58
2位	千種・今池	113.4%	125
3位	岡崎駅周辺◎	110.6%	49
4位	東岡崎駅周辺◎	108.7%	80
5位	名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	106.0%	577

■外食単価

順位	タウン名	外食単価(円)	前年度比	前回順位
1位	栄・伏見	3,480	104.3%	1位
2位	名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	3,234	107.2%	2位
3位	千種・今池	2,895	106.7%	3位
4位	金山	2,667	108.1%	4位
5位	四日市駅周辺◎	2,558	107.7%	5位

■外食タウン別年齢構成《20歳代》

順位	タウン名	20歳代シェア	前回順位	前回値
1位	名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	28.1%	1位	29.4%
2位	藤が丘	26.5%	8位	22.8%
3位	豊田市駅周辺◎	24.9%	3位	24.9%

※各タウンの「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」の年代のうち、20歳代/60歳代による外食が多い順にランキング

■外食タウン別年齢構成《60歳代》

順位	タウン名	60歳代シェア	前回順位	前回値
1位	津島駅周辺◎	35.9%	1位	35.4%
2位	桑名駅周辺◎	28.9%	3位	25.6%
3位	多治見駅周辺◎	26.1%	4位	25.4%

■外食タウン別客層構成《サラリーマン(男性会社員)》

順位	タウン名	男性会社員シェア	前回順位	前回値
1位	豊田市駅周辺◎	46.7%	1位	51.6%
2位	刈谷駅周辺◎	44.2%	2位	46.7%
3位	四日市駅周辺◎	43.7%	4位	43.0%

※各タウンの「男性会社員」「女性会社員」など職業のうち、男性会社員/女性会社員による外食が多い順にランキング

■外食タウン別客層構成《OL(女性会社員)》

順位	タウン名	女性会社員シェア	前回順位	前回値
1位	栄・伏見	18.4%	1位	18.0%
2位	名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	17.9%	3位	16.9%
3位	多治見駅周辺◎	15.8%	16位	7.6%

■外食タウン別同伴形態構成《カップル》

順位	タウン名	カップルシェア	前回順位	前回値
1位	金山	9.4%	4位	10.0%
1位	藤が丘	9.4%	1位	12.2%
1位	春日井・勝川・高蔵寺◎	9.4%	12位	6.7%

※各タウンの「家族・親族」「恋人や異性2人」など同伴形態のうち、家族・親族/恋人や異性2人による外食が多い順にランキング

■外食タウン別同伴形態構成《家族関係》

順位	タウン名	家族シェア	前回順位	前回値
1位	津島駅周辺◎	77.3%	1位	71.6%
2位	江南駅周辺◎	69.1%	5位	62.5%
3位	春日井・勝川・高蔵寺◎	66.4%	2位	63.9%

●東海圏中食タウンランキング

■中食市場規模

順位	タウン名	中食市場規模(億円)	前年度比	前回順位
1位	名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	82	94.8%	1位
2位	栄・伏見	56	89.2%	2位
3位	春日井・勝川・高蔵寺◎	49	118.4%	4位
4位	岐阜駅周辺◎	42	98.2%	3位
5位	尾張一宮・名鉄一宮◎	39	109.3%	5位
6位	豊田市駅周辺◎	37	110.1%	6位
7位	四日市駅周辺◎	34	114.2%	8位
8位	大曾根	31	97.3%	7位
9位	金山	29	120.8%	11位
10位	藤が丘	25	106.1%	12位

■中食市場規模 前年度比増加率

順位	タウン名	前年度比	中食市場規模(億円)
1位	大垣駅周辺◎	121.3%	19
2位	金山	120.8%	29
3位	春日井・勝川・高蔵寺◎	118.4%	49

■中食単価

順位	タウン名	中食単価(円)	前年度比	前回順位
1位	名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	1,085	104.0%	1位
2位	栄・伏見	984	95.6%	2位
3位	金山	826	111.2%	9位

【参考】中食購入の実態 (2015年5月追加調査)

- 中食の購入場所は回数ベースで「スーパー」がほぼ半数を占め、次に「コンビニ」が20%を占める。「コンビニ」の利用は20~40代の男性や20代女性が高い。
- 購入している品目は、男性は「弁当」が多く、女性は「惣菜・おかず」が多い。
- 中食を利用する理由は、「簡単に済ませたい」「料理するのが面倒」「料理する時間がない」が上位にあげられ、特に20~50代の女性において顕著。女性の社会進出に伴い、「時短」「手軽さ」を求めている中食利用が進んでいる様子がうかがわれる。

【出典】2015年5月度の外食市場調査において、この1カ月間における中食の購入先、購入頻度、購入理由などを聴取した結果を掲載。サンプル数：10,042件、うち中食実施者のサンプル数は6,388件。

■中食の購入場所の延べ回数シェア【推計】 (2015年5月の1か月間、3圏域計)

※1カ月間に中食を購入した店の種類(複数)の回答割合に、店の種類別の平均購入回数を乗じて、店の種類別の延べ購入回数を算出し、回数ベースの構成割合を出した。

※:性年代別の延べ回数の合計は、有効桁数の関係で、3圏域計の延べ回数と完全には合致しない。(延べ回数:回×推計)

		スーパー	コンビニ	(百貨店 地下など)	(持ち帰り 専門店)	外食店の アウト	その他小 売店	宅配専 門店	外食店の 出前	仕出し 弁当、 ケータ リング	その他	
3圏域計	29,678	49.9	20.0	7.9	7.9	5.1	3.3	2.8	1.1	0.9	1.1	
性年代別	男性/20歳代	2,892	47.5	31.3	4.4	7.7	3.5	1.7	2.1	0.8	0.6	0.5
	男性/30歳代	3,463	43.7	31.8	3.9	8.2	5.4	2.1	2.6	1.2	0.3	0.8
	男性/40歳代	3,881	49.8	26.4	4.9	7.4	4.6	2.5	2.1	0.8	0.7	0.8
	男性/50歳代	3,214	56.2	20.4	5.0	5.9	3.8	3.0	2.4	1.2	1.2	0.8
	男性/60歳代	2,723	50.9	10.7	10.3	10.9	4.2	3.2	5.3	1.4	2.0	1.2
	女性/20歳代	2,377	43.1	27.8	7.4	7.4	5.8	3.1	2.6	1.0	0.4	1.3
	女性/30歳代	2,600	47.9	15.9	9.6	8.4	7.6	4.4	2.6	1.3	1.6	0.8
	女性/40歳代	2,910	52.5	14.5	8.6	7.7	6.5	4.0	2.0	1.2	1.3	1.7
女性/50歳代	2,672	53.7	11.1	12.7	7.7	5.2	3.6	2.6	0.9	0.6	1.8	
女性/60歳代	2,950	53.3	5.8	14.3	8.4	4.6	5.9	4.2	1.3	0.7	1.4	

太字 3圏域計より5pt以上高い項目 3圏域計より5pt以上低い項目 単位(%)

■中食購入品目<多い順> (2015年5月に中食を購入した人 ベース/複数回答)

		揚げ物・おかず・惣菜	弁当	寿司・和食	おにぎり類	パン・サンドイッチ	ピザ・パスタ	つまみ類(枝)	デザート類	カレー・丼もの	中華・ラーメン	うどん・そば	洋食	その他
3圏域計	6,388	50.6	42.0	39.2	24.3	14.7	13.7	12.7	12.7	11.9	8.5	8.0	5.6	3.9
性年代別	男性/20歳代	500	40.7	48.1	26.5	29.4	22.0	8.8	12.4	22.9	14.6	13.3	8.1	1.4
	男性/30歳代	638	46.6	49.4	24.4	28.2	20.4	10.1	10.8	15.7	10.2	8.2	5.9	2.1
	男性/40歳代	683	48.3	49.1	33.6	29.0	13.3	14.2	12.1	14.9	11.0	10.8	5.7	2.7
	男性/50歳代	535	47.3	47.1	41.0	21.3	13.3	20.7	9.2	14.4	10.7	9.4	7.0	3.9
	男性/60歳代	666	41.9	45.9	50.7	12.2	9.7	13.6	5.3	8.8	4.3	6.4	4.4	5.5
	女性/20歳代	555	48.4	36.1	28.1	30.1	18.2	11.1	18.8	11.6	12.4	9.6	5.3	5.1
	女性/30歳代	673	57.0	34.0	34.0	27.8	14.9	12.1	17.0	10.1	8.0	7.1	4.7	3.6
	女性/40歳代	734	59.5	35.0	35.6	27.2	15.2	15.1	15.2	10.5	7.2	7.5	6.0	3.6
女性/50歳代	633	58.1	36.5	47.6	22.8	14.7	13.8	14.8	6.4	6.8	5.4	4.4	5.4	
女性/60歳代	772	53.7	41.2	62.5	17.2	9.1	16.9	11.6	7.6	2.9	4.7	4.9	5.5	

太字 3圏域計より5pt以上高い項目 3圏域計より5pt以上低い項目 単位(%)

■夕食に「中食」を利用する理由<多い順> (2015年5月調査・全体ベース/複数回答)

		簡単に済ませたい	料理する時間がない	料理するのが面倒	外食より安い	外食より落ち着い	一人分が気軽に買った	作るより安い	入りやすい	栄養生産を考	24時間買えるよう	選べる	外食よりいろいろ	あまる、無駄が出	料理が苦手、嫌い	種類が豊富にな	宅配メニューの種	その他	夕食用にこ	夕食用にこ
3圏域計	10,042	57.4	41.5	37.2	20.7	18.9	11.3	10.8	6.6	5.9	5.2	5.1	4.8	4.6	3.0	3.5	14.9	14.9	14.9	
性年代別	男性/20歳代	872	57.6	33.1	33.7	19.0	11.6	9.6	11.9	6.5	4.5	6.4	4.3	4.2	6.4	1.9	1.7	15.7	15.7	15.7
	男性/30歳代	1,087	59.1	33.8	36.8	18.8	14.2	8.4	10.6	6.3	5.4	5.5	3.0	5.8	4.9	2.4	2.7	16.1	16.1	16.1
	男性/40歳代	1,192	57.6	32.8	32.9	20.0	14.8	9.3	12.4	5.6	4.6	5.3	4.1	5.9	4.6	2.1	3.5	17.5	17.5	17.5
	男性/50歳代	881	54.7	32.9	29.4	22.5	20.3	11.9	13.6	6.4	6.9	6.4	5.9	7.4	4.6	2.7	3.4	18.4	18.4	18.4
	男性/60歳代	1,019	47.6	33.3	25.0	21.5	24.2	13.6	9.6	6.4	7.5	5.9	6.1	4.9	3.3	4.5	3.6	21.7	21.7	21.7
	女性/20歳代	832	65.5	51.1	38.2	21.6	18.6	12.9	9.9	9.0	5.0	6.7	4.5	4.1	4.5	3.6	3.0	11.0	11.0	11.0
	女性/30歳代	1,054	66.5	54.2	45.4	21.8	20.7	8.5	7.8	5.5	4.0	4.5	3.6	3.0	5.4	3.0	3.1	10.2	10.2	10.2
	女性/40歳代	1,151	60.4	50.0	46.9	21.1	18.9	8.3	10.1	5.2	5.5	4.5	4.7	3.3	6.0	2.4	3.3	12.0	12.0	12.0
女性/50歳代	874	56.1	50.1	43.1	21.9	21.0	13.3	11.7	7.9	7.0	4.2	7.8	4.6	4.3	2.6	4.2	10.9	10.9	10.9	
女性/60歳代	1,081	49.3	44.3	39.4	19.3	24.5	17.8	10.9	7.8	9.0	3.1	7.1	4.4	2.1	4.3	5.7	14.8	14.8	14.8	

太字 3圏域計より5pt以上高い項目 3圏域計より5pt以上低い項目 単位(%)